

序. 調査研究の目的と構成

1. 調査研究の目的

近年、地方公共団体の設立した公立ホールが、共同企画・招聘による事業の効率化、近隣ホール間の企画のバッティング防止、情報交換によるノウハウの取得、職員のプロデュース能力の向上などを目的に、複数館でネットワークを組むケースが増えている。

この傾向は、公立ホールが急増するなかで、実際の運営においては、立地条件や運営ノウハウ、事業費の規模などのさまざまな課題を抱えている現状から生まれてきたものであると想像される。また、ネットワーク活動の現状としては、参加ホールの運営規模や方向性等の違いによってさまざまな問題点・課題があることも指摘されている。

そこで、本調査研究では、国内の公立ホール同士で展開されているネットワーク活動の現状を把握し、その問題点・課題あるいは効果などを分析・整理することにより、実りあるネットワーク活動構築のための方策を検討・提示し、今後のわが国の公立ホールにおける幅広い活動に寄与することを目的としている。

2. 調査研究の構成と内容

(1) 公立ホールにおけるネットワーク活動の実施状況と既存事例の調査

① 公立ホールを対象にしたアンケート調査

公立ホールにおけるネットワーク活動の現状を把握するためアンケート調査を実施した。調査対象には、全国の公立ホールのうち、広域市町村圏(338)および大都市周辺地域広域行政圏(24)の中心となる市町村に立地する公立ホール362ホールに、都道府県立ホール、東京都内のホール、事前にネットワーク活動実施を把握しているホール等を加えた478ホールを抽出した。

アンケート調査の実施に際しては、既存情報から積極的にネットワーク活動を行っていると思われる数事例の概要を事前に把握し、調査票の作成に活用した。

具体的な調査項目は、下記のとおり。

[アンケート調査の項目]

- 1) ホールの施設概要(事業概要、組織構成、運営予算、稼働率等)
- 2) ネットワーク活動実施の有無
- 3) ネットワーク活動の概要(活動目的、活動の経緯・背景、ネットワーク参加ホール数、組織形態、活動範囲等)
- 4) ネットワーク活動の具体的な内容
- 5) ネットワークの運営方法(各ホールの役割分担、費用負担等)
- 6) ネットワーク活動における民間団体の関与
- 7) ネットワーク活動の効果
- 8) ネットワーク活動の問題点・課題
- 9) ネットワーク活動への参加希望(現在は実施していないホールについて)
- 10) ネットワーク活動に対する今後の展望
- 11) ネットワーク組織が主催するセミナー等への参加状況

② 都道府県を対象にしたアンケート調査

都道府県が実施している公立ホールのネットワーク事業およびその支援策に関する実態を把握するため、都道府県の文化行政担当部局にアンケート調査を実施した。

③ 国内の代表的なネットワーク活動の事例調査

上記のアンケート調査結果をもとに、ネットワーク活動の現状と問題点をより詳細に把握するため、活動の特性、活動エリア、活動の具体的な内容、活動の主体などから調査事例を抽出し、ヒアリング調査を実施した。

具体的な調査対象と調査項目は以下のとおり。

[調査対象]

- 1) シアターネットかんげき
- 2) 富山県公立文化施設協議会(富山県文化ホールネットワーク公演事業)
- 3) 類似ホール企画連絡会議
- 4) 南河内文化会館連絡協議会
- 5) C-WAVE ネットワーク協議会

[ヒアリング項目]

- ホールの施設概要、事業概要、予算規模
- ネットワーク参加各ホールの概要
- ネットワーク活動の経緯・目的
- 具体的な活動内容
- 参加各ホールの役割分担、運営方法等
- 民間ホールとの連携
- 経費負担
- 公的支援の活用状況
- ネットワーク活動による効果
- ネットワーク活動の問題点・課題

- ネットワーク活動の将来的な展望

④ 民間ホール・劇場へのヒアリング調査

公立ホールのネットワーク事業における民間ホール・劇場の関与・連携の現状を把握し、その可能性を模索するため、ヒアリング調査を実施した。具体的な調査対象および調査項目は下記のとおり。

[調査対象]

- 1) 東京オペラシティ コンサートホール
- 2) カザルスホール
- 3) PARCO 劇場

[ヒアリング項目]

- 公立ホールとのネットワーク活動状況
- 公立ホールとの共催公演の形態・仕組み
- 公立ホール・劇場とのネットワーク化によるメリット
- 公立ホール・劇場とのネットワーク活動上の課題
- 今後の運営方針および公立ホール・劇場とのネットワーク化
- 公立ホール同士のネットワーク活動への示唆

(2) 実りあるネットワーク構築に向けての研究会

わが国の公立ホールにおける今後のネットワーク活動のあり方や、ネットワーク活動実施に向けた課題・留意事項を整理・分析するため、「公立ホールのネットワーク活動に関する研究会」を設置し、専門的な観点から議論・検討を行った。研究会の委員構成および検討テーマは以下のとおり。

[研究会委員](五十音順)

- 荒起一夫 ((財)吹田市文化振興事業団 事務局長)
 市山裕之 ((財)北九州市教育文化事業団 主査)
 児玉 真 (カザルスホール チーフプロデューサー)
 佐藤 信 (世田谷パブリックシアター ディレクター)
 佐藤まいみ ((財)神奈川県芸術文化財団 プロデューサー)
 丹羽正明 (音楽評論家・那須野が原ハーモニーホール館長)

[研究会における討議テーマ]

- ネットワーク活動の目的と意義
- ネットワーク活動の内容および各ホールの役割分担
- ネットワーク活動の効果、問題点・課題など
- ネットワーク活動の今後の可能性